

前 奨 大 連

前橋市生涯学習
奨励員連絡協議会

責任者 大井常利

事務局
前橋市教育委員会
生涯学習課内

〒371-0023
前橋市本町2-12-1
前橋プラザ元気21
3階

☎(027) 210-2198

図書館は身近な「知のひろば」

前橋市立図書館長 齋藤 明子

最近の前橋市立図書館について、ピー
アールさせていただきます。図書館は、身近
な「知のひろば」として、学びの拠点と
なり得る施設の一つです。本を借りるだ
けでなく、お困りの調べごとにも対応い
たしますよ。お気軽にご利用ください。

図書館新本館について

「前橋市立図書館新本館基本構想」が策
定されているのはご存じでしょうか。現在
の図書館本館は、市役所や県庁の近くに位
置していますが、図書館新本館は、商業・
文化施設が集結する中心市街地への移転を
予定。そして、図書館新本館のビジョンは、
「対話による多様な学びがある知のひろば」
です。図書館は、学びを求める利用者にと
もに成長し、いつの時代にも新しい知識を
提供できる場所であることを目指します。

現在、図書館新本館基本計画を作成中
であり、年内には皆さまへお示しできるよう、
ただいま奮闘中です。

コロナ禍の取り組みについて

コロナ禍であった令和四年度中、図書
館において充実を図った機能がありま
す。人と人の接触を減らしながら、図書

館機能や利便性向上を目的に「前橋市
電子図書館」の開設や、図書館本館を
はじめ、前橋こども図書館、分館の一
部に、自動貸出機や書籍除菌機等を設
置いたしました。中でも電子図書館は
二十四時間対応のサービスで、例えば、
読み上げ機能を備えた電子書籍もあり
ますので、外国語を勉強している方の
学習ツールとしてもお勧めです。

レファレンスサービスについて

図書館が行う重要なサービスの一つ
としてレファレンスがあります。これ
は、図書館司書が文献の提供や、検索
の援助、情報提供などを行うサービス
です。このレファレンスは、単にイン
ターネット検索結果からお答えするの
ではなく、情報の根拠等を多面的にしっ
かり確認した上で回答いたします。こ
の季節のお困りごと、夏休みの自由研
究テーマ、読書感想文の選書など、皆
さまの知りたい気持ちに応えるサービ
スとして、お
役に立つかも
しれません。

前橋市立図書館
電子図書館
の利用にお
ききください。



前 奨 連 総 会

五月九日総会
人と人がつながる活動を
四年ぶりの全員参加で開催

令和五年度の生涯学習奨励員連絡協
議会の任期二年目の総会が、五月九
日、前橋中央公民館ホールにて、一四
人の参加者を得て開催されました。

コロナ禍で事業もままならない三
年間でしたが、令和五年度は、全員
が一堂に会する四年ぶりの総会とな
りました。

大井会長は、「総会に奨励員全
員が集まることは喜ばしいこ
と。昭和六十二年に発足したこの
制度も三十六年の歴史を重ね、学
ぶことが数多くありました。地域
を愛することは地域を知ること、
共に生き出合いを活かした絆づ
くりを目指します。地域の活性化に
向け、人と人をつなげる活動を
テーマに奨励員活動を取り組ん
でゆくことを望んでいます。」と話
しました。

各町ですすめる生涯学習活動

令和四年度の事業実績報告では、生
涯学習フェスティバルは中止となつて
しまいました。が、セミナーや実践研究
会を実施でき、成果が見られました。
決算報告では限られた予算の中で実
ある活動をつくってききました。

「市からの予算をつけて文化活動を
やってほしい」との意見に対し、「本
来の奨励員の役割は、それぞれの町の
生涯学習活動に取り組み、実施費用に
ついては自治会と連携して進めていく
ことが望ましい」と笠原副会長からの
ことばがありました。

今年度の事業計画とそれに伴う予算
案が提案されました。今年度事業は特
別な問題がない限り実施の予定です。
総会後に研修会を開催しました。

元教育長・前橋市社会教育委員会
議長長の佐藤博之氏を
講師に、「心豊かな地
域づくりに向けて」生
涯学習奨励員への期待
と題してご講演を
いただきました。
(講演関連記事は四面に掲
載します)



総会



研修会

地区だより ④⑤

「町の奨励員活動」

元総社地区・(二〇区自治会) 理事

伊藤 茂男

私たちの町(自治会名)は元総社町一〇区です。令和元年に元総社町七八区自治会から現在の元総社町一〇区に自治会名称を変更いたしました。昭和から令和まで使われた元総社町七八区自治会という名称については定かではありませんが、町村合併時に市内で七十八番目の自治会ということでした。

自治会活動とともに

生涯学習活動を実践

私たちの町は、十七号高前バイパスと上越線の間にあり、北は十七号バイパスと天狗岩用水(滝川)の交差点、南は鳥羽町と接する染谷川までが私たちの地域で、約一、三〇〇世帯、約二、五〇〇人が住んでおります。私たちの町では、自治会に生涯学習奨励員と共に活動してもらう生涯学習委員会を設け、自治会運営はもとより、行事や事業において生涯学習活動を実践しております。

恒例の活動に加えて
新たに活動再開

活動状況については、この二、三年はコロナのため中止したのもありました。十分な感染対策を取り、可能な限り活動を実施してまいりました。

実施した活動としては、年間六回(二ヶ月おき)の広報紙(全戸配布で写真入りカラー印刷)発行、六十五歳以上の方を対象とした毎月一回の「ふれあいサロン」、毎月一回三か所の公園で行われる清掃活動、正月恒例のどんど焼きを実施いたしました。一方、コロナの影響で、昨年一昨年と二年間やむを得ず中止した活動もありました。春のお花見会、町内親睦旅行、三世代交流グラウンドゴルフ大会、餅つき大会、しめ縄づくり等です。今年度は、コロナの状況を見つつラジオ体操、更には夏の納涼祭を開催することとしました。また、中止になっていた秋から冬の行事についても、今後のコロナ感染状況を見つつ開催する予定でおります。

最後に、各種団体との交流や情報収集を行い、多くの町民の方々が楽しく住みよい街づくりを行うために、生涯学習活動を実施していききたいと思います。

生涯学習奨励員。いま、わが町で。

コロナ禍にあっても行事開催

芳賀地区・勝沢町奨励員

中山 洋子

勝沢町は昔、町役場が在った所で芳賀地区の中心に位置します。町は三地区に別れていますが、いろいろな行事を三地区で協力して行っています。コロナ禍でありましたが、令和五年元旦の勝城神社の初詣に始まり、一月八日には、どんどん焼きを町の招福と厄祓いを願って行い、五月にはふれあいグラウンドゴルフが開催され、老若男女一〇〇人が参加し、和気あいあいとプレーを楽しみました。

七月の百万遍を楽しみに

七月には縮小開催ですが、町の伝承行事の百万遍念仏が予定されています。百万遍念仏は江戸時代頃から行われ、無病息災を願う素朴な信仰です。当時は村人が集団で祈ったことにより疫病に対する集団免疫ができて、疫病が退散したように思われます。

毎月第一木曜日

には、高齢者向けにふれあいサロンも自治会役員、各種団体のボランティアで毎回趣向を凝らし行っています。生涯学習奨励員もスタッフとして参加しています。



百万遍念仏の様子

自治会行事広報紙で紹介

自治会の行事や内容は、町の広報紙「わたしたちの勝沢」に掲載されます。六月現在で四二九号になります。この広報紙は、毎月一日に自治会役員、各種団体、編集委員、生涯学習奨励員で編集会議を開き、決定して発行しています。コロナ禍にあっても休止せず、発行を皆の力で続けました。生涯学習奨励員としては、各種行事の記事、勝沢人(町の人材発掘)ティーブレイクなどの記事を担当しています。日頃からアンテナを高く、皆様に記事が喜ばれるよう取材し、執筆に励んでいます。

町の皆さんは、一步一步以前の生活に戻るよう活発に活動しています。

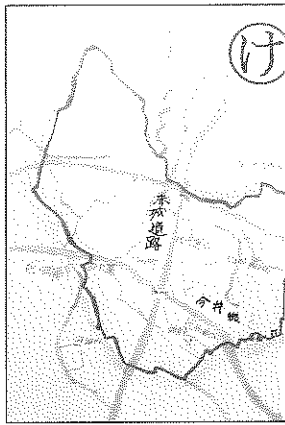
文化の継承と支え合う町

宮城地区・大前田町奨励員

岩崎 一江

わが町は田園の広がる豊かな地域で、諏訪神社の奉納獅子舞を始め、多くの文化財を守っています。しかし、人口の減少と高齢化への対策も急がれる課題となっており、各種団体が様々な対応策を講じているところです。

諏訪神社では十月第三日曜日に秋祭りが行われ、そこでは伝統の獅子舞が奉納されます。獅子舞は子ども達による獅子子舞と大人による舞が行われます。地元の小学生から高校生まで、地域で育てた獅子子舞が大人になり、さらに次の世代へと連綿と続いているのです。四〇〇年以上も続く獅子舞は、前橋市無形文化財に指定



上細井かるた

上細井町は、南橋地区の東に位置する町です。

左の絵は、令和二年に前任の松本生涯学習奨励員と育成会が中心になって自治会として製作された「上細井かるた」の一枚で、太枠内が、わが町です。かるたの詠み文「県道は赤城道路と

木村 淳一

南橋地区・上細井町奨励員

「いい町つくろう」を合言葉に

今井線」は金井氏（故人）が、原画は当時中学二年生の女屋さんが作成したものです。

このかるたから、南北には赤城県道、東西には今井線（県道七十六号）と上武道路が通っている地域の様子がわかるかと思えます。そして、四十四枚の全てのかかるたを見渡せば、上細井町の歴史と文化を知ることができる価値ある資料といえます。

また、この六月始めに上毛新聞に掲載されましたが、細井神社の近くを流れる宮川沿いの滝で、毎年六月上旬に「はたる鑑賞会」が実施されています。今回は市外からの参加者もいました。今年度で十七回目になりましたが、「ホタルの会」の努力でたくさんの自生のホタルが生息しています。

このように歴史・文化が薫る、自然



大前田獅子舞

されており、令和三年には獅子舞保存会が群馬県表彰を受けました。

世良田地区には鎌倉後期造立と考えられる凝灰岩石仏の阿弥陀如来坐像が、良い遺存状態で安置されています。毎



世良田阿弥陀如来坐像

年四月には地区の方々によって清掃や参拝が行われ、大切に保存継承されています。

六十五歳以上の方を対象に年三回のいきいきサロンでは、コミュニケーションをとりながら楽しく心と体を動かすことができました。また、駐在

さんを招いての防犯対策講座では、巧妙な手口への対処の仕方を演技を交えて分かりやすく教えていただきました。

毎年二月には、防災訓練を行っています。集落センターは避難所となつているため、備蓄物品の点検・補充、消防署員の指導の下、救急法と消火訓練を行いました。災害時に備えて、一人暮らしの高齢者への声掛けと避難誘導の仕方、また生活支援体制を整えるための組織や方法など「大前田町お助け隊」や自治会を中心に各種団体が協力し合い、支えあう町づくりを目指しています。

豊かな町です。

コロナ禍も落ち着いてきているようですが、自治会の各種団体は、これまで制限されてきた各事業内容に見直しを加えながら再開し、そして今後の活動の準備を進めているところです。

町広報紙のタイトルは、「いい町つくろう上細井だより」。これからも町民の力を合わせて、その実現を進めていきたいと思っています。

自治会と一体となつて

三中地区・昭和町二丁目奨励員

岸 洋一

わが町は昭和四十年代の町名変更の際、旧萩町の一部と旧岩神町の一部から昭和町二丁目となりました。

現在約三八〇世帯からなる一方、市内でも最も高齢化が進んでいるといわれています。

奨励員は、自治会役員の「特別役員」と位置づけられ、役員会等に常に参加し、生涯学習に関する内容については、その都度提案協議し、実施にあたっては自治会役員全員に参画してもらっています。

コロナ禍前には、地域全体に呼びかけて「研修旅行」を年一度自治会と共催で実施してきました。・上田、八ッ場ダム方面・東京、迎賓館、柴又帝釈天・潮来、鹿島神宮などです。しかし、高齢化などで参加者が限られてしまい、費用もかさんでしまうため現在では取りやめになっています。

定期的には、グラウンドゴルフ大会、前橋市の「出前講座」を活用した学習の機会を作っています。防災、防犯、公的保険制度、毎日の暮らしに活かせる体のケアなどを実施し、多くの参加を得ることができました。しかし、やはりコロナのため、この間はほとんどの行事を中止せざるを得ない状況が続いてしまいました。

今年度、コロナの位置づけも変わり各活動も実施に向けて計画しているところですが、直近では、中止が続いていた「納涼祭」を八月に行います。今回は飲食物の提供をなくし、子ども達の参加を多くした内容にしました。そのため育成会の皆さんが活躍しています。

研修会

心豊かな地域づくりに向けて

生涯学習奨励員への期待

前橋市社会教育委員会 議長 佐藤 博之氏

奨励員の活動の再開に

どう向き合うか

この三年間は自治会活動と共にある奨励員活動も、コロナ禍によってほぼ中止または対策を講じての縮小という状況にありました。

各町では奨励員としての活動ができなかったと言われる方が多数かと思えます。そのような中で、任期二年目の今年度はコロナも五類相当となり、ウイズコロナ時代を迎え活動も拡大の兆しがあります。

奨励員が各町でどのように活動をつくりだせるかのヒントになるよう、五月九日に研修会を開催しました。

役員をするメリット

講師の佐藤博之氏はたくさんのお話を聞き、様々な活動が続いています。日本のプロボクシングのマネージャーの長野ハルさんのことばを引用し、「生涯学習には夢の不発弾はない」と言います。読書にはたくさん

の世界があり、いわゆる個人的な生涯学習はつきないものです。

最近では自治会活動の参加者が少ない、役員のなり手がいない等々の問題があるようですが、自治会長や育成会など地域の役員を引き受け、とても居心地が良い体験をしました。

これらの役員をすることで、いろいろな人間関係ができ、自分の住んでいる町に安心感が持てました。お

社会教育を基盤とした人づくり、つながりづくりを大切に

みこしをみんなで作って楽しかったこと、道普請などで人が集まり交流し情報提供し合うなど、みんながつながることは、人が生きていくのに大切なことです。

活動を通してつながる町

また地域住民間のつながりのアンケートのデータでは、年々人と人とのつながりが減少傾向にあります。しかし、地域社会での活動への参加

意欲では、機会があったら参加してみたいとの回答は八割くらいあり、活動への参加につながりようなきっかけづくりが必要です。

自治会活動も高齢化などによる役員不足などで曲がり角にきています。自治会が無くなることで防災防犯の問題が心配されます。住民が自治会活動を通じて顔見知りになることで災害や問題がおきたときに住民が連携することができるのです。

町民の豊かな暮らしを生み出すこと、この町に住みたくなること、楽しく暮らせる町、豊かな地域づくりこそ自治会の使命です。

生涯学習奨励員は自治会と共に

る役割を担っています。

社会教育とは学校や家庭以外の

社会で広く行われる組織的な教育活動を言います。(学校教育はスズメの学校。社会教育はメダカの学校)

自主的な学びによる知的欲求、自己実現・成長。住民相互学習を通じたつながり、きずなの強化。住民の主體的な参加による地域課題の解決等を社会教育とするなら、社会教育とは地域づくりと言えます。各町の奨励員は実働部隊となります。

そもそも何をやっていいかわからない、コロナによって三年間も何も

しなかったのを忘れてしまったとの話も聞きますが、そのピンチをチャンスに変えて、最初に戻るといふ発想もあります。

奨励員の役割のその一つに生涯学習のコーディネートがあります。学習集団の運営、イベント企画、自ら学習を深め、住民の学習意欲の増進を図ることを念頭に地域づくりに結びつける活動を考えてみてはどうでしょう。

(広報委員長 持田みね子)

あゆみ(4月～7月)

■Ⅱ主要事項

4・3 ■総務委員会▼理事会対応案件

4・20 ■第1回理事会▼5年度事業・予算等総会関連▼5年度総会・研修会関連

4・24 ■総務委員会▼総会関係資料作成関連・作業

5・1 ■生涯学習フェスティバル2023 第1回代表者会議▼行事開催計画(9月2日開催予定)

5・9 ■5年度総会および研修会代表者会議▼具体的開催計画

6・27 ■フェスティバル第2回代表者会議▼具体的開催計画

7・6 ■総務委員会▼理事会対応案件

7・14 ■第2回理事会▼フェスティバル具体的実施内容関連▼研修委員会▼広報委員会

7・14 ■第2回理事会▼フェスティバル具体的実施内容関連▼研修委員会▼広報委員会